共通テスト対策講座 地理総合，地理探究

　みなさんこんにちは。地理のたつじんです。深遠なる地理の世界へようこそ。
　こちらの講座では 2025 年度試作問題『地理総合, 地理探究』の全問を深く掘り下げ，実践的な解説を行っています。この分析と研究こそ，本番の試験で高得点をマークするための直接的な対策になるでしょう。

＜本講座の特徴＞
　講義では問題を表示した電子黒板を用い，ステップ・バイ・ステップで一緒に問題を解き進めていきます。全問を解き終えるころには，共通テストの解き方が身に付いていることでしょう。その際，共通テストで得点を重ねるためには，外してはいけない**二つのポイント**があると私は考え，講義に工夫を施しています。
　一つは，**与えられた情報から正答へ至る道筋を設計すること**。正答を導くためには一連のフロー（流れ）があります。問題のどこに注目し，どのように解いていくのか，そのガイドとなる考え方を講義内では**「正答への道しるべ」**として示しました。
　そしてもう一つは，**問題に必要な知識を特定し取り出すこと**です。**「正答の鍵」**では，各問題に必要となるキーワードを取り上げ，知識を確認していきます。

＜受講のルール＞
　本講座において，予習は必須です。必ず事前にテキスト内の問題（試作問題）を解いてから，講義に臨んでくださいね。その際，時間はたっぷり取って，丁寧に解いてみてください。問題の正解・不正解よりも，自分がどのように考えて答えを導いたのか，どういった理論や知識を用いて問題にアプローチしたのか，そのような過程が大切なのです。自分なりの課題を見つけ，講義の中で多くの気づきを得てください。それがみなさん自身の成長につながるのです。

　共通テストでみなさんが素晴らしい結果が得られるようにと，心を込めてこちらの講座をつくりました。「なるほど，そうなんだ！」と思える，多くの気づきを体験してください。みなさんの地理力，大きくアップさせていきましょうね。

鈴木達人

目　次

第 1 講　2025 年度 試作問題 第 1 問 ……… p4

第 2 講　2025 年度 試作問題 第 2 問 ……… p12

第 3 講　2025 年度 試作問題 第 3 問 ……… p18

第 4 講　2025 年度 試作問題 第 4 問 ……… p26

第 5 講　2025 年度 試作問題 第 5 問 ……… p34

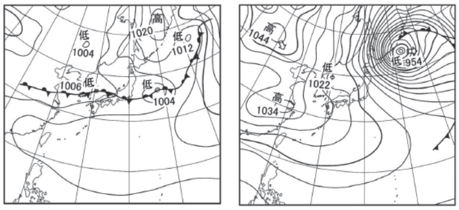
第 6 講　2025 年度 試作問題 第 6 問 ……… p42

試作問題の傾向分析と対策

①　用語の丸暗記では解けない，思考問題が出題される！

地理は論理的思考が重要視される科目であり，特に共通テストにおいてはその傾向が強くなっています。第２問問４は，天気図から季節を読み解き，さらに起こり得る災害とその対策を特定することが求められました。西高東低や梅雨前線という言葉を知っていても，それらがいつ，なぜ発生し，どんな災害に結びつくのか，そうした大局的な理解がなければ難しい問題だったでしょう。地理的事象は決して独立して存在しているのではありません。それらは整然と結びつき，その背景には理論的な裏付けがあります。地理を学習する際は，用語をやみくもに暗記することは控え，原因・背景や結果などを含め，その事象の本質を理解すること。科学的な視点によって理論を学び，地理的理解の礎としましょう。

問４　次の図４中の天気図**ア**と**イ**は，異なる季節の典型的な気圧配置を示したものである。また，後の**写真１**中のＪ～Ｌのうち二つは，**ア**と**イ**のいずれかの気圧配置時に日本で発生しやすい気象現象や，それによる被害を軽減するための構造物を撮影したものである。**ア**，**イ**とＪ～Ｌとの組み合わせとして最も適当なものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。［ 8 ］



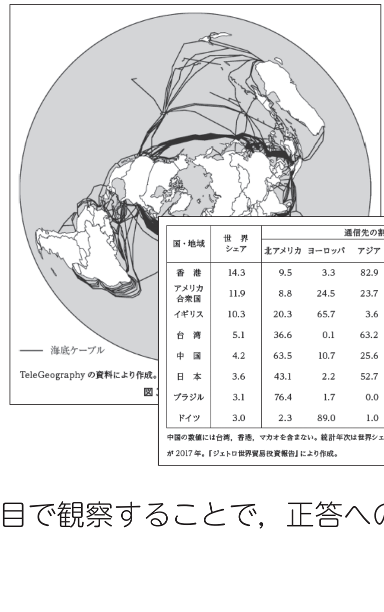
気象庁の資料により作成。

図４　異なる季節の天気図

写真１　構造物

②　複数の図表やグラフを読み取るテクニックが問われる！

共通テストでは多種多様な図表及びグラフが用いられ，また長文からなる説明文なども多く登場します。第４問問５は，図と表，説明文を照らし合わせながら正答を導く問題でした。最初は情報の量に圧倒されるかも知れませんが，これらはすべて問題を解くための「手がかり」なのです。表やグラフの中の特徴的な統計数値，会話文中のちょっと気になる文章表現，それらを敏感に捉え，フローを意識しながら論理を組み立てる技術が必要になります。固定観念や偏見は捨て，資料を冷静な目で観察することで，正答への道筋を見つけましょう。



TeleGeography の資料により作成。

図

国・地域	世界シェア	通信先の割合				
		北アメリカ	ヨーロッパ	アジア	ラテンアメリカ	その他
香港	14.3	9.5	3.3	82.9	0.0	4.3
アメリカ合衆国	11.9	8.8	24.5	23.7	38.8	4.2
イギリス	10.3	20.3	65.7	3.6	0.2	10.2
台湾	5.1	36.6	0.1	63.2	0.0	0.1
中国	4.2	63.5	10.7	25.6	0.0	0.2
日本	3.6	43.1	2.2	52.7	0.0	2.0
ブラジル	3.1	76.4	1.7	0.0	21.8	0.1
ドイツ	3.0	2.3	89.0	1.0	0.1	7.6

中国の数値には台湾，香港，マカオを含まない。統計年次は世界シェアが 2016 年，通信先の割合が 2017 年。『ジェトロ世界貿易投資報告』により作成。

第 1 講　2025年度 試作問題 第1問

第 1 問　ニュースをきっかけに難民問題に関心をもったレイさんたちは，それぞれの疑問を整理し，次の**資料 1** のような過程で追究した。難民問題に関する次の問い（**問 1 ～ 4**）に答えよ。（配点　12）

資料 1　難民問題に関するレイさんたちの疑問

難民をめぐる現状や課題はどのようなものだろうか？

どこに，どのくらいの難民がいるのだろうか？ → 人びとが難民となってしまう背景とは，何だろうか？ → 難民の受入れ先では，受入れに際して，どのようなことが生じているだろうか？ → 難民を取りまく課題の解決に向けて，求められることは何だろうか？

問 1　レイさんたちは，難民が発生している地域や難民の数を把握するために，後の**図 1** を作成した。**図 1** に関するレイさんたちと先生との会話文中の下線部①～④のうちから，**誤りを含むもの**を一つ選べ。 1

先　生　「2000 年には約 1200 万人であった世界の難民は，2020 年には約 2070 万人となりました。**図 1** からは，どのようなことが読み取れますか」

レ　イ　「難民は，両年ともアフリカや①西アジアの国々で多く発生していることが分かります」

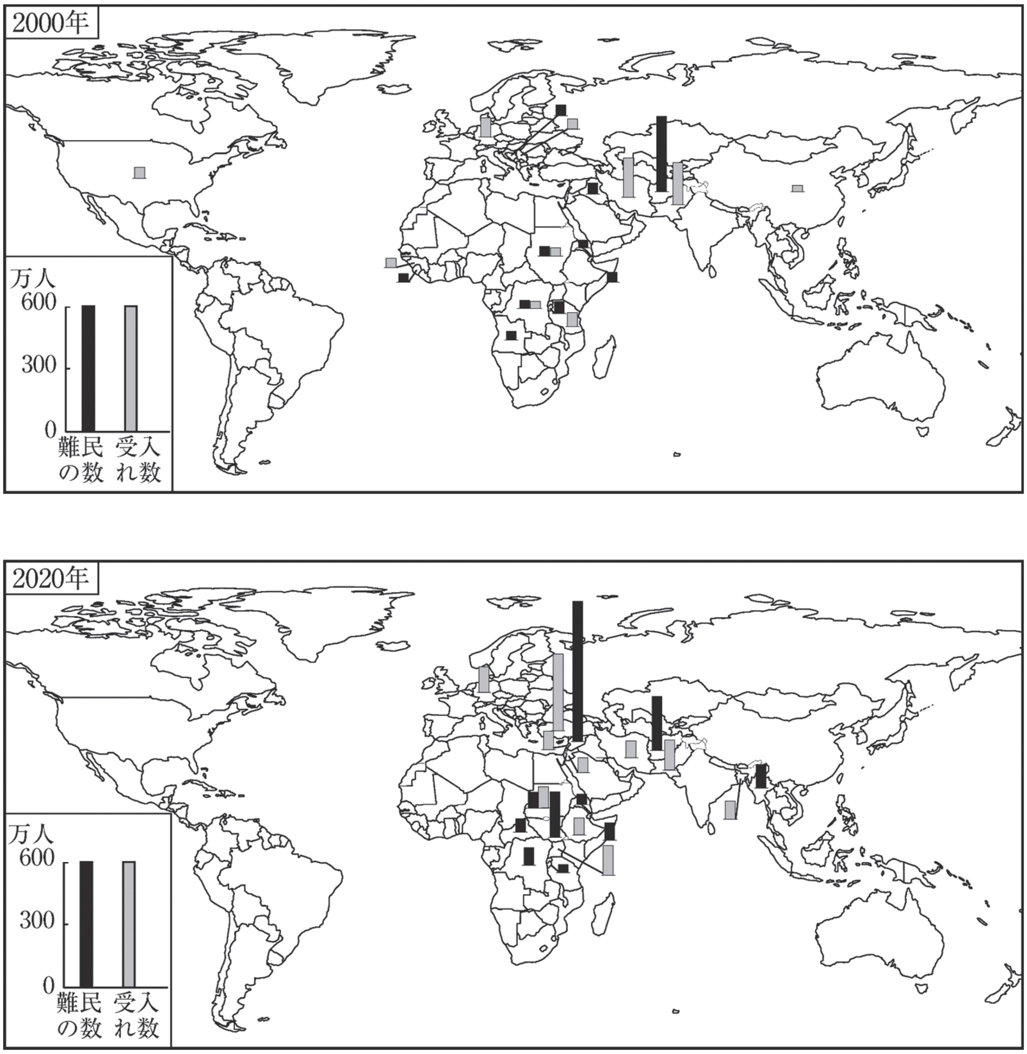
シノブ　「2000 年と 2020 年の図を見比べると，この間に，②新たな内戦・紛争や政治的迫害が生じていることが推測できます。また，紛争や政情不安が長期化している国もありそうです」

カエデ　「受入れについてみると，両年とも受入れ数上位の多くが，③難民の出身国周辺の国であることが分かります」

先　生　「受入れ先の地域差について考えてみましょう。各国の経済規模との関係をみる指標として，GDP1 ドル当たりの難民受入れ数があります」

レ　イ　「例えば，2020 年に同程度の難民を受け入れているドイツとアフリカのウガンダを比べると，④ドイツの値の方が大きくなると考えられます」

先　生　「難民の出身国と受入れ先の両方を調べていく必要がありますね」



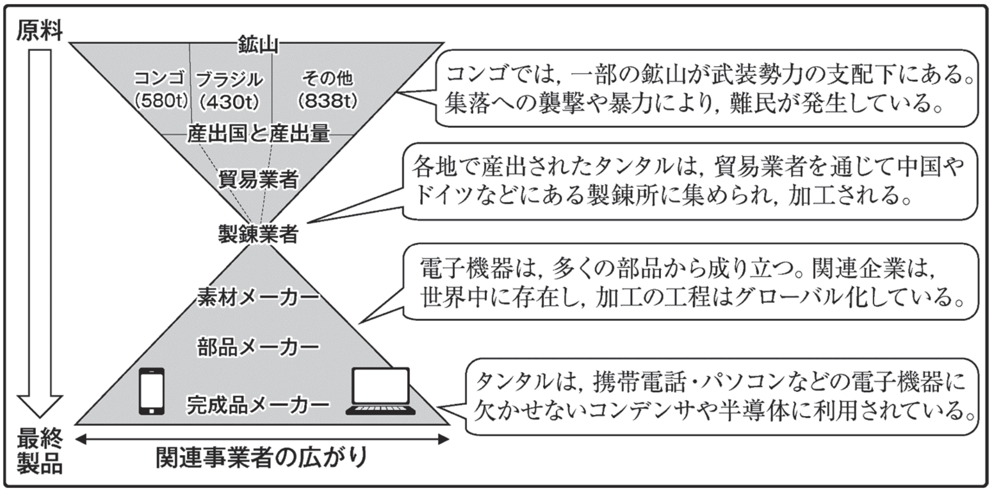
パレスチナ難民および国外に逃れたベネズエラ人は含まない。UNHCR の資料により作成。

図１　難民の数と受入れ数の上位 10 か国

問２　シノブさんは，難民が生まれる背景について，アフリカ中央部のコンゴ民主共和国(コンゴ) における紛争鉱物*を事例として調べ，次の**資料２**にまとめた。**資料２**について述べた文として**適当でないもの**を，後の①～④のうちから一つ選べ。［ 2 ］

*内戦・紛争にかかわる武装勢力の資金源となるおそれのある鉱物。

資料２　紛争鉱物であるタンタルのサプライチェーンの概念図



タンタルの産出量の統計年次は 2019 年。USGS の資料などにより作成。

①　タンタルの産出量は，上位２か国で世界全体の半分以上を占めていることから，特定の地域に偏って分布しているといえる。

②　紛争鉱物をなくすためにコンゴ産のタンタルを禁輸することは，コンゴで正規に取引している企業や労働者の生活を圧迫することになる。

③　完成品メーカーは，紛争鉱物が含まれているかを最も特定しやすいため，完成品メーカーに対して紛争鉱物の利用を規制することが効果的である。

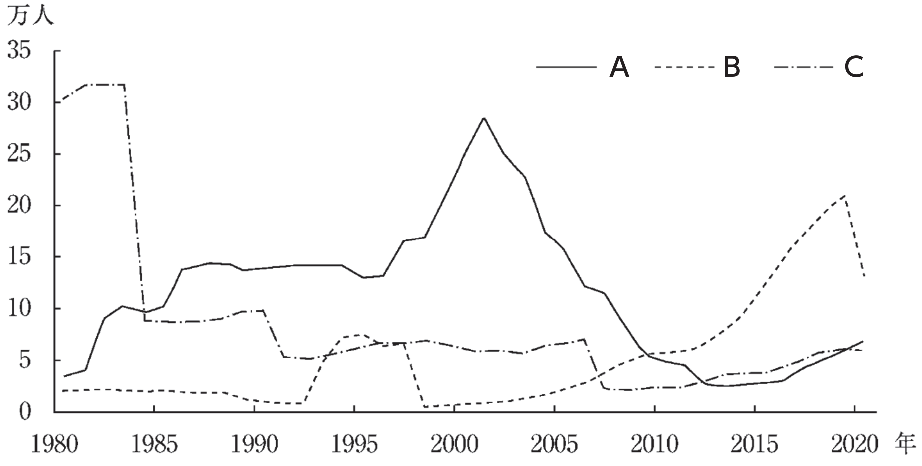
④　タンタルをリサイクルして使用する仕組みを構築することは，取引価格を引き下げ，違法な取引を減らすために有効である。

問３　カエデさんは，難民の受入れ先に興味をもち，受入れに関する動向を調べた。次の文章**ア**～**ウ**は，イタリア，オーストラリア，アフリカのザンビアのいずれかにおける難民の受入れ状況について述べたものであり，後の**図２**中の**A**～**C**は，それぞれの難民の受入れ数を示したものである。オーストラリアに該当する文章と凡例との正しい組合せを，後の①～⑨のうちから一つ選べ。 3

ア　2002年まで内戦が続いた隣国から多くの難民を受け入れてきた。難民の自立や社会への統合を進めるため，滞在許可や土地を与える取組みがある。

イ　移民国家であり，1970年代のベトナム戦争で発生した難民を多く受け入れた。2001年以降は保護を求めて流入する難民への対応を厳しくした。

ウ　北アフリカなどから多くの難民が流入している。2010年以降，難民数や負担が増大し，国内では受入れに否定的な意見もある。



UNHCRの資料により作成。

図２　難民の受入れ数の推移

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
文 章	ア	ア	ア	イ	イ	イ	ウ	ウ	ウ
凡 例	A	B	C	A	B	C	A	B	C

問４　難民をめぐる現状や課題について追究してきたレイさんたちは，これまでの学習で明らかにしてきた課題と，考えられる解決策について次の**資料３**にまとめた。**資料３**中の空欄**Ｅ**と**Ｆ**には語句**ａ**と**ｂ**のいずれか，空欄**カ**と**キ**には語句**ｘ**と**ｙ**のいずれかが当てはまる。空欄**Ｅ**と**カ**に当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。［　４　］

資料３　レイさんたちがまとめたポスター

難民問題の解決に向けて必要なこととは？

難民の発生に関する課題と解決策

内戦・紛争の発生や長期化	難民の安全や人権に対する侵害
⇩	⇩
紛争解決・平和構築	**人道支援・開発協力**
・PKOの派遣や第三者による仲介 ・当事者同士の和解 ・（　Ｅ　）	・安全な移動手段の確保 ・避難先での衣食住，医療の提供 ・（　Ｆ　）

➡ **難民を生まないための取組みや，難民への直接支援が重要！**

難民の受入れに関する課題と解決策

受入れの地域差	受入れ社会との摩擦
⇩	⇩
カ	**キ**
・財政・物資・人材支援 ・国際機関・国・NGOなどの連携 ・受入れを各国に割当てる（EUでの実施例を調べてみてはどうか？）	・様々な価値観や文化・宗教に対する理解の向上 ・多くの難民を受け入れている国を参考にするのはどうか？

➡ **受入れをめぐる課題を様々な立場から考えることが必要！**

EとFに当てはまる語句

a　教育・職業訓練の提供

b　選挙・民主化に対する支援

カとキに当てはまる語句

x　責任の分担

y　多文化共生

	①	②	③	④
E カ	a x	a y	b x	b y

第 1 講　2025年度 試作問題 第 1 問　解答

(全大問合計で 100 点満点)

問題番号 (配点)	設　問	解答番号	正　解	配　点
第 1 問 (12)	1	1	4	3
	2	2	3	3
	3	3	6	3
	4	4	3	3